

令和2年5月

お客さま各位

北海道信用金庫

「令和元年度 地域密着型金融推進計画の取組結果について」

皆さまから親しまれ、信頼される『アワーズしんきんバンクの実現』を目指し、今年度も地域密着型金融を積極的に推進してまいりましたので、その取組結果をお知らせいたします。

今後とも地域社会並びにご利用いただいている皆さまへ感謝の気持ちを込め、地域経済活性化に資する取組みを強化してまいります。

引き続きご支援・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

なお、各項目の詳細につきましては、別添の「令和元年度 地域密着型金融推進計画」をご参照ください。

記

1. 地域密着型金融推進のための3大項目

- ① コンサルティング機能の発揮
- ② 地域の面的支援への積極的な参画
- ③ 地域や利用者への積極的な情報発信

2. 重点課題の主な取組実績

① ライフステージに適したコンサルティング機能の発揮

・創業・新事業支援融資（年間目標 150 件、12 億円）

創業・新規事業支援案件並びに創業補助金申請等に対し、(株)しんきん北海道金融センターにて幅広く情報提供や相談に応じております。

なお、年間目標に対する実績は、181 件、24 億 9 百万円で、件数・金額ともに年間目標を達成しました。

今後も、地域に新たなビジネスや雇用を創出することで、地域活性化に貢献すべく積極的に取り組んでまいります。

・課題解決支援の強化

認定経営革新等支援機関として、ものづくり補助金等の各種補助金制度の活用に向け積極的に取り組んでおります。また、各種ビジネスマッチング事業への積極的な参画等により、お客さまの課題の解決支援に取り組んでおります。

・経営改善支援の強化（ランクアップ年間目標 25 先）

認定経営革新等支援機関として、北海道中小企業支援ネットワーク等を通じて情報交換を行い、連携強化を図っております。また、外部機関・外部専門家を活用した支援活動にも積極的に取り組んでおります。

なお、ランクアップ年間目標に対する実績は 31 先であり、年間目標を達成しました。

・事業再生への取組み

当金庫提案による北海道中小企業再生支援協議会の活用実績は 2 件、新たに DDS 等を活用した事業再生支援の取組実績は 2 件でした。引き続き、事業再生について積極的に取り組んでまいります。

・事業承継への取組み

事業承継に関するご相談等については、(株)しんきん北海道金融センターの担当者と業務提携先等が訪問により対応しております。また、「事業承継サポートネットワーク」に参画し、事業承継に関する地域の現状や課題等を共有したほか、各機関の支援施策等に関する情報交換を行っております。

令和元年 11 月 11 日、22 日には「事業承継・M&A セミナー」を開催いたしました。

② 担保・保証に過度に依存しない融資態勢の強化

シンジケートローンに参加したほか、無担保・無保証人の融資取扱いについても適切に対応いたしました。

また、日本政策金融公庫の証券化スキームを利用した融資商品を取扱いしたほか、法人役員や個人事業主の方による事業資金にも利用可能で、インターネット上で手続きが完了するフリーローンの取扱いを開始いたしました。

③ 地域経済の活性化への取組み

(株)しんきん北海道金融センターが産学官連携支援協議会の委員を務め、「産学官連携支援事業」を支援しております。

地域貢献活動の一環として、各地域の行事に積極的に参加しております。小樽市の「おたる潮まつり」、「小樽雪あかりの路」や余市町の「北海ソーラン祭り」ほか、各地域の行事に参加・協力し、地域の皆さまとの交流を図っております。

④ 当金庫の経営内容・取組み等に関する情報発信

ディスクロージャー誌及びホームページに経営状況を公表し、経営の透明性向上を図っております。

金融教育の一環として、地元小中学生による職場見学を受け入れました。また、小樽市や余市町で開催された職業体験イベントに参加し、地元の子どもたちに信用金庫業務を体験していただきました。

お客さまの環境問題への取組みを支援し、環境に関する融資の促進を図るため、ESG 融資の定義と年間目標を設定のうえ、ホームページ上に公表いたしました。

以 上

令和元年度 地域密着型金融推進計画

1. 地域金融機関として中小企業支援・地域活性化支援の強化を図るため、以下の3項目について意識を持った活動を推進します。

- ①コンサルティング機能の発揮
- ②地域の面的支援への積極的な参画
- ③地域や利用者への積極的な情報発信

2. 重点課題として、以下の4項目について積極的に取り組んでまいります。

- ①ライフステージに適したコンサルティング機能の発揮
- ②担保・保証に過度に依存しない融資態勢の強化
- ③地域経済の活性化への取組み
- ④当金庫の経営内容・取組み等に関する情報発信

項 目	計画(取組方針、目標)	進捗状況
1. コンサルティング機能の発揮		
(1) 創業・新事業支援の強化	①情報の提供、適切な支援機能の強化 ②創業・新事業支援に関する実績の公表(目標150件、12億円の実行)	①創業・新規事業支援案件並びに創業補助金申請等に対し、(株)しんきん北海道金融センターにて幅広く情報提供や相談に応じております。 ②創業・新規事業支援融資取扱い実績(平成31年4月～令和2年3月)…181件、24億9百万円 年間目標(150件、12億円)に対する進捗状況は、件数で121%、金額で201%となりました。
(2) 課題解決支援の強化	①経営相談等の機能強化及び情報提供機能の一層の強化 ②ビジネスマッチング支援等	①認定経営革新等支援機関として、ものづくり補助金等の各種補助金制度の活用に向け積極的に取り組んでおります。 ・平成30年度補正ものづくり補助金では、当金庫が認定経営革新等支援機関として支援したお客様のうち、6先が採択されました。今後も、認定経営革新等支援機関として、お取引先に対して各種補助金制度の積極的な活用提案を実施してまいります。 ②北洋銀行主催の「北洋ものづくりテクノフェア」へ取引先3社に出展いただきました。(7月25日開催) ・(株)東急百貨店「個別商談会」へ取引先4社にご参加いただきました。(10月29日開催) そのうち1社が催事に出展しました。 ・東京東信金主催の「ひがしんビジネスフェア2019」に取引先3社に出展いただきました。(11月15日開催) ・(公財)北海道中小企業総合支援センターとの共催による「(株)伊藤忠商事との個別商談会」並びに同時開催の「どさんこプラザとの個別商談会」へ取引先3社にご参加いただきました。(令和2年1月22日開催) ・当金庫主催の個別商談会に参加した取引先2社が百貨店の催事に出席しました。 ・信金中央金庫が制作する「2019年度優待カタログ」に、取引先2社の商品が掲載決定しました。 ・(株)三越伊勢丹ギフトカタログ「2020年度旬彩カタログしんきんつなぐ力」に取引先4社の商品が掲載決定しました。 ・新商品を生産する設備がない事業者に、製造委託先を1先紹介しました。 ・北海道信用金庫 ビジネスレポート「北海道信用金庫ビジネスマッチング広場」に取引先12社を掲載いたしました。 ・北海道信用金庫 ビジネスレポート「5金庫誌上ビジネスマッチング」に取引先8社を掲載いたしました。

項 目	計画(取組方針、目標)	進捗状況
(3) 経営改善支援の強化	①認定経営革新等支援機関としての経営改善支援等の実効性向上 ②地域金融円滑化に関する恒久的措置への対応 ③経営改善支援取組実績の公表(ランクアップ目標25先) ④外部専門家との連携強化と積極的な活用	①認定経営革新等支援機関として、北海道中小企業支援ネットワーク等を通じて情報交換を行い、連携の強化を図っております。 ・経営改善・事業再生支援施策の活用・提案及び北海道経営改善支援センターの経営改善計画策定支援事業を活用し、実効性の向上を図っております。 ・経営改善計画策定支援として、経営改善計画策定支援事業を3先に、早期経営改善計画策定支援事業を7先に活用いたしました。 ・認定経営革新等支援機関として経営改善計画の策定支援を行い、7先が北海道信用保証協会の経営力強化保証・経営改善サポート保証を利用して経営改善を図っております。 ②金融円滑化対応先や経営改善支援先(225先)に対し、モニタリング・ヒアリングの実施や企業の経営実態及び財務内容、経営改善計画の進捗状況を把握し、経営改善・事業再生支援を行っております。 ・中小企業向け創業・育成&成長ファンド「しんきんの翼」や北海道オールスターファンド(事業再生ファンド)等、新たな資金供給手法の促進を図っております。 ・今年度、当金庫のお取引先における北海道オールスターファンド資金の活用実績は2件でした。 ③経営改善支援先のランクアップ目標25先に対し、31先がランクアップいたしました。 ④地域プラットフォームとして、「北海道ビジネス創造連携プラットフォーム」、「北海道中小企業総合支援プラットフォーム」、「道央圏商工会議所ネットワーク」の構成機関になっております。 ・経営サポート会議や専門家派遣事業、よろず支援拠点等の外部機関・外部専門家を活用した支援活動に積極的に取り組んでおります。 ・経営支援の一環として、お取引先の緊急時における事業継続の対策等を支援するため、中小企業庁の「BCP専門家派遣事業」の活用に向け積極的に取り組んでおります。 ・経営サポート会議3件、専門家派遣を7回(うち、BCP専門家派遣1回)活用いたしました。
(4) 事業再生への取組み	①中小企業再生支援協議会等の一層の活用 ②RCC・サービサー等との連携 ③事業再生支援機能の強化	①今年度、当金庫提案による北海道中小企業再生支援協議会の活用実績は2件でした。引き続き、事業再生支援について積極的に取り組んでまいります。 ②各サービサーに対するアプローチを継続実施してまいります。 ③今年度、新たにDDS等を活用した事業再生支援の取組実績は2件でした。引き続き、再生を目指す企業に対し、積極的かつ前向きな支援に取り組んでまいります。
(5) 事業承継への取組み	①取引先企業の後継者問題、相続対策への対応	①前年度からの継続案件を含め、事業承継相談22件の対応を行いました。相談企業には、株式会社しんきん北海道金融センターの担当者と業務提携先等が訪問により対応しております。 ・M&A(買収)成約実績は1件でした。 ・「事業承継・M&Aセミナー」を開催いたしました。(11月11日開催 余市会場 参加者35名、11月22日開催 札幌会場 参加者23名) ・「事業承継サポートネットワーク」へ参画し、事業承継に関する地域の現状や課題等を共有したほか、各機関の支援施策等に関する情報交換を行っております。

項 目	計画(取組方針、目標)	進捗状況
(6) 中小零細企業に適した資金供給手法の徹底	①担保・保証に過度に依存しない融資の徹底 ②目利き能力の向上	①シンジケートローンに積極的に参加したほか、無担保・無保証の融資取扱にも適切に対応いたしました。 実績:シンジケートローン(8件)、無担保無保証人融資(408件)。 ・日本政策金融公庫の証券化スキームを利用した融資商品(無担保・第三者保証なし)を取扱いいたしました。 (今年度の取扱期間:令和元年8月1日～12月10日 実績:113件、19億83百万円) ・法人役員や個人事業主の方による事業性資金にも利用可能で、インターネット上で手続きが完了するフリーローン「WEB完結」の取扱いを開始いたしました。 ②融資渉外担当者の審査トレーニーを実施し、審査能力の向上に取り組んでいるほか、外部研修として、全国信用金庫協会主催「事業性評価融資推進講座」に1名、北海道信用金庫協会主催「融資推進講座」、「貸出審査能力養成講座」、「目利き力養成講座」に各2名が参加いたしました。 ・11月には、若手職員の能力向上を目的に、外部講師による「若手職員向けの融資・渉外研修」を実施しました。(41名参加)
2. 地域の面的支援への積極的な参画		
(1) 地域経済の活性化への取組み	①地域住民および産学官金労との連携強化 ②地域行事等への積極的参加	①榊しんきん北海道金融センターが産学官連携支援協議会の委員を務め、「産学官連携支援事業」を支援しております。 ・道内大学生による「ものづくり製品化&起業化支援事業」(事務局:札幌商工会議所)の支援機関として、ビジネスアイデアへの助言等をしております。 ・江別経済ネットワークに参画しております。 ・地域コワーキングスペースを定期的に訪問し、地域創業希望者や事業者の経営相談を受け付けております。 ②地域貢献活動の一環として、各地域の行事等に積極的参加・協力支援を行っております。 ・余市町「北海ソーラン祭り」に、金庫役職員総勢121名がねりこみの踊り手などで参加いたしました。(7月6日) ・小樽市「おたる潮まつり」に、金庫役職員総勢174名がねりこみの踊り手などで参加いたしました。(7月27日) ・小樽市「小樽雪あかりの路」にて「北海道信用金庫ふれ愛広場」会場の運営を担当いたしました。 雪像製作(令和2年2月1日と2日)に金庫役職員総勢46名が参加し、開催期間中(2月9日～2月16日)は金庫職員が交代で保守を担当いたしました。 ・その他札幌市近郊、小樽市、後志、空知管内各町村独自の行事等に参加・協力し、地域の皆さまと交流を図っております。

項 目	計画(取組方針、目標)	進捗状況
3. 地域や利用者への積極的な情報発信		
(1) 当金庫の経営内容・取組み等に関する情報発信	<p>①経営内容・取組等に関する情報発信 ②各種セミナーの開催 ③金融経済教育の実施 ④CS向上への取組み ⑤環境問題への取組強化</p>	<p>①ディスクロージャー誌及びホームページに経営状況を公表し、経営の透明性向上を図っております。</p> <p>②東京大学名誉教授・学習院大学国際社会科学部教授の伊藤元重氏を講師に迎え、「日本経済の行方」と題し、北海道信用金庫経済講演会を開催いたしました。 (5月16日 札幌開催、5月17日 小樽開催、参加者2会場合計997名)</p> <p>・「消費税軽減税率制度対策セミナー」を開催いたしました。 (5月21日開催 小樽会場 参加者28名、5月23日開催 札幌会場 参加者28名)</p> <p>・「外国人材採用・活用支援セミナー」を開催いたしました。 (6月19日開催 倶知安会場 参加者49名、6月21日開催 札幌会場 参加者84名)</p> <p>・9月26日開催 札幌商工会議所主催「創業者フォローアップセミナー」にて講師を務めました。(27名参加)</p> <p>・女性向け「創業スクール」全4講座(第1回10月16日、第2回10月24日、第3回11月6日、第4回11月13日)を開催いたしました。(延べ参加者114名、札幌市特定創業支援等事業)</p> <p>・令和2年2月13日開催 札幌市主催「女性起業家交流会」にて創業支援の取組みについて紹介しました。</p> <p>・「余市・仁木新規就農者セミナー」を開催いたしました(12月5日開催、参加総勢49名(30名のお客さまと19名の関係機関))。交流会は人数は23名の参加となりました。</p> <p>③小樽商科大学において「商学特講(地域金融と信用金庫)～信用金庫の役割と地域経済活性化」と題し、今年度で11年目となる提供講義(前期2単位)を開催いたしました。(履修者数 44名)</p> <p>・子供職業体験プログラム「おたるワークステーション」に協力し、信用金庫業務の体験ブースを出展いたしました。(ウイングベイ小樽:11月3日)</p> <p>・イオン余市店主催の職業体験イベント「お仕事体験」に協力し、信用金庫業務の体験ブースを出展いたしました。(イオン余市店:4月21日)</p> <p>・金融教育の一環として、地元小中学生による職場見学を受け入れました(澄川支店・手稲支店)。</p> <p>④お客様満足度調査においてお客様の声アンケートによりご意見・ご要望(79件)を集約し、利用者満足度向上に取り組みました。</p> <p>・全営業店に設置している「ご意見メールBOX」に寄せられたご意見・ご要望等(45件)の中で、実現可能なものを経営施策に反映し、利用者満足度向上に取り組みました。</p> <p>・高い業務知識と優れた応対能力を持つ職員を認定する制度である「CSマイスター」は、令和2年4月1日現在で12名となっております。「CSマイスター」は研修講師等に優先的に指名しており、他の職員の模範・目標となることで、業務担当者全体の能力向上を図っております。</p> <p>⑤お客さまの環境問題への取組みを支援し、環境に関する融資の促進を図るため、ESG融資の定義と年間目標を設定のうえ、ホームページ上に公表いたしました。(ESG:環境・社会・ガバナンス)</p> <p>・地域のESGに関する課題の解決に向け、環境対策のための二酸化炭素排出削減や省エネルギーに寄与する事業及び事業所への融資を促進するべく「環境対策応援ローン」の取扱いを開始いたしました。</p> <p>・「クールビズ2019」を実施しました。(6月1日～9月30日)</p> <p>・「ウォームビズ2019」を実施しました。(12月1日～3月31日)</p> <p>・環境問題への意識の醸成とCSRの一環として、「さっぽろキャンドルナイト2019」へ参画しました。(6月22日)</p> <p>・地域貢献活動の一環として、「小樽運河散策路」清掃活動を行いました。(6月8日、金庫役職員参加人数89名)</p> <p>・お客様用販促品等の一部にグリーン購入法適合・エコマーク認定商品等環境に配慮したものを採用しました。</p> <p>・二酸化炭素排出量削減に向け、当金庫の「環境自主行動計画」に基づき各種取組みを実践しております。</p> <p>・環境自主行動計画の一環として、ペーパーレス会議システムを導入し、印刷用紙の削減を図りました。</p> <p>・お客さま用の販促品等の一部にグリーン購入法適合・エコマーク認定商品等環境に配慮したものを採用しております。</p>